

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究に関するご質問、診療情報等を研究に利用または提供されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

研究課題名	調剤薬局薬剤師による高尿酸血症治療薬の適正使用に向けた取り組み
研究責任者	阪神調剤薬局伊丹店 薬剤師 上松 瑞代
本研究の目的	現在、調剤薬局で扱う処方箋に検査値情報が記載されているものは少ない状況です。そのため、保険調剤薬局におけるCKD患者での過量投与に関する分析などの検討は十分実施されているとは言えません。そこで、今回、アロプリノールが処方された全患者の腎機能数値より判断したアロプリノールの用量が過量となっている処方の分析を行います。また、過量投与症例に対して行った取り組みについて合わせて報告し、保険調剤薬局での検査値データの活用が薬物適正使用の改善へと繋がることの可能性を探ります。
研究の方法 (対象者、利用する試料、情報等)	対象となる方： 阪神調剤薬局伊丹店において、2023年1月1日から2023年12月31日までの期間にアロプリノールの投薬を受けた全患者 利用する情報： 処方箋に記載された年齢、性別、アロプリノールの用量 薬歴の記録の内容 患者情報：年齢、性別、診療科、処方箋や病院より発行された血液検査情報に記載されたeGFR(mL/min) 疑義照会内容：疑義照会後の処方変更（有無） トレーシングレポート内容：報告後の処方変更（有無）
試料、情報等の他研究機関への提供及び提供方法	他の機関への資料・情報の提供はありません。
研究期間	2025年12月31日まで
個人情報の取り扱い	研究に携わる者は、個人情報の取り扱いに関して「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」、及び適用される法令、条例等を遵守する。薬局にて取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれており、情報は紙媒体及び電子媒体で記録される。記録には患者氏名は含まれるが研究に関する情報の公表においては、個人が特定されないことがないよう

	<p>配慮する。また、情報の保管及び廃棄は厳重に管理する。個人が特定されない配慮として、研究開始の時に、研究対象者の氏名を識別コードに置き換え、対応表を作成する。対応表は薬局内の鍵のかかる引き出しに保管する。</p> <p>尚、学会発表を予定しているが、発表内容に患者個人及び医療器仮名を特定する情報は一切含まず、匿名化を行う。</p>
本研究の資金源及び利益相反	なし。
お問い合わせ先	阪神調剤薬局伊丹店 上松 瑞代 TEL : 072-782-7086
備考	